DJ-CH3 セットモードについて

DJ-CH3 特定小電力トランシーバーは用途に合わせて、より使いやすくするためにカスタマイズすることができます。ここでは付属の取扱説明書で説明しきれていないセットモードの内容を補完します。

本資料の使用に関して...
本資料の内容は予告なく変更することがあります。
ソフトウェアのバージョンによっては、格納音声を変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、弊社の許諾が必要です。
弊社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、弊社もしくは第三者が所有する知的財産権、その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する損害に関し、弊社は一切その責任は負いません。

【重要なご注意】
同梱の説明書にあるチャンネルやグループ番号などを自分で行っていない方は、このセットモード設定も変更しないでください。本機は設定を表示する液晶がないので、設定状態が分かりにくくなっています。設定を変更されたり、リセットされたりした場合は弊社カスタマーサービスに「もとに戻したい」と相談されても、もとの状態が分からないためサポートができません。
管理者が居なくなった、誰が設定したか分からない、というときは面倒でも全員の無線機をリセットして、新たに同じ設定に合わせこむのが一番早くて確実な方法です。

[セットモード操作]
F キーを押しながら GR キーを短押しします。ランプが黄色点滅しセットモードになります。
「セットモード」と鳴った後に、「1(No.)」→「電池選択」→「乾電池」が鳴ります。
項目の選択は GR キーを押すと順送りし、F キーを押すと逆送りします。
設定値の切り替えは▽/△キーを押します。
選択した番号、項目、設定値を音声でお知らせします。
PTT キーを押すと設定が完了し、受信待ち受けに戻ります。
セットモードで 1 分間キーを操作しないと、自動的に受信待ち受けに戻ります。

[セットモード項目]

1.電池選択
設定値 乾電池 / リチウム電池（初期値 乾電池）

オプションのリチウムイオンバッテリーパック EBP-70 を使用する場合には、減電池お知らせを正しくさせるためにリチウム電池を選択してください。この設定を行わないと、減電池お知らせが不正確になります。

2.コンパンダー（雑音低減）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コンパンダー（雑音低減）は通話中に聞こえる「サー」というかすかなバックノイズを低減します。ただしコンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合は必ず OFF にしてください。かえって音質が悪くなります。

3.PTT ホールド（送信保持）

設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

PTT キーを 1 度押すと送信状態を継続し、もう 1 度押すと待ち受け状態になります。
この機能を使用すると送信中に PTT キーを押し続ける必要がなくなります。

4.VOX（音声検知送信）

設定値 OFF / Low / High（初期値 OFF）

PTT キーを押さなくても自動的に送受信を切り替えることができる機能です。マイクに音声が入れば送信、音声がなくなれば待ち受け（受信）状態になります。

Low ： VOX 感度 小（大きな音で反応します。周りがうるさくて黙っていても送信してしまうときにお勧めします）

High： VOX 感度 大（小さな音で反応します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）

注）・VOX 機能は一部のオプションマイクが使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX 感度を Low に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はご使用になれません。
・VOX 運用中は音声入力から送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」で VOX での送信保持時間が変更できます。ウエブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

5.コールバック（音声モニター）
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コールバック（音声モニター）機能を ON に設定すると、送信中にイヤホンから自分の声が聞こえ話しやすくなります。

6.エンドピー（送信終了音）
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

PTT キーを離したときに「ピッ」と鳴って通話相手に送信が終わったことを伝える機能です。

【メモ】エンドピー（送信終了音）は送信側から発せられるため、機能を ON/OFF するときは送信側機器を設定してください。

7.秘話
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

秘話機能を使う（ON）と「モガモガ」した声になって通話内容を他人に聴かれにくくなります。ただし他の無線機でも同様の設定をすれば簡単に聴くことできるので、セキュリティは非常に低いものです。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」で秘話の周波数が変更できます。ウエブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。

8.ベル（呼び出しお知らせ）
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

呼び出されたことをランプとベル音でお知らせします。
呼び出された場合、何かのキーを押すまで待ち受け状態のランプが緑色点滅になります。

【メモ】一定時間通話が途切れた後に受信したとき 10 秒間ベルが作動します。

9.ガイダンス音量
設定値 OFF / Low / High（初期値 Low）

本機から鳴るビープ音と音声ガイダンスの音量を調整できます。

OFF ： すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）と音声ガイダンスが鳴らなくなります。ただしセットモード中と電源キー短押しでのチャンネルとグループのお知らせはガイダンスが鳴ります。
本機は液晶がないため、ガイダンスをOFFにするとどのような状態になっているか分かりませんので、ご注意ください。

Low ： 初期値の音量です。

High： 初期値のLow設定時よりも、すべてのビープ音と音声ガイダンスの音量が大きくなります。

注）イヤホンを使用した状態でガイダンス音量を「High」に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

10.送信出力

設定値：High(10mW) / Low(1mW)（初期値 High）

送信時の送信出力を変更することができます。

Low ： 1mW出力　初期値のHigh設定時よりも送信出力が小さくなります。

High： 10mW出力　送信出力が大きくなり、Low設定時よりも広いエリアでの通信ができます。

【メモ】送信出力をLowに設定すると通話距離は短くなりますが、中継ビジネスチャンネル（b12～b29）に設定時、通話時間を3分ごとに2秒間強制的に持ち受け状態に戻される3分制限がない連続通話ができます。
送信出力をHighに設定時や、送信出力Lowで単信チャンネル（L01～L09、b01～b11）や中継レジャーチャンネル（L10～L18）に設定時、通話時間を3分経過すると自動で2秒間強制的に待受け状態に戻されますが、PTTが押されたままでチャンネルが空いていれば再送信します。

11.緊急通報機能

設定値：OFF / ON（初期値：OFF）

緊急通報機能をONに設定するとGRキーを3秒間押し続けることで内蔵スピーカとイヤホン装着時はイヤホンから緊急通報音が鳴ります。

【メモ】緊急通報機能はキーロック中でも有効です。

緊急通報音が鳴っているとき、同じチャンネル（同じグループ）の無線機に対して緊急通報音が送信され、通信相手に注意喚起することができます。緊急通報音を停止させたい場合は、PTTキーを1回押すことで停止されます。

12. オートパワーオフ

設定値：OFF / 30 分 / 1 時間 / 1 時間 30 分 / 2 時間（初期値：OFF）

電源の切り忘れを防ぐ機能です。設定した時間、キー操作されることなく経過するとビープ音でお知らせして、自動的に電源が切れます。音声などを受信してもタイマーはリセットされません。

13. 受信音ミュート（接客モード）

設定値：OFF / ハンド / タッチ / ボイス（初期値：OFF）

イヤホンマイクを装着時に、ワンタッチまたは自分の声で受信音をミュート（音量 1）にする機能です。ミュート解除後は、設定された音量値に戻ります。

ハンド：イヤホンマイクの PTT キーを短押しすることでミュートがかかります。解除方法は同じように PTT キーの短押しで解除されます。

タッチ：イヤホンマイクを軽くたたくことでミュートがかかります。解除方法は同じようにマイクを軽くたたくことで解除されます。

ボイス：マイクに声が入るとミュートがかかります。声が入っている間はミュートを保持し、声がなくなると解除されます。

注）**・タッチとボイスはバッテリーセーブ機能が働かないため、使用時間が大幅に短くなりますが異常ではありません。限定的な用途にニーズがあるため敢えて採用しています。一般用途にはハンドをお使いください。**

・受信音ミュートは VOX 機能、PTT ホールド機能を設定時は使用できません。

・ミュート状態で何かのキーを押すとミュートが解除されます。

・ハンドとタッチではミュート解除忘れを防ぐため、一定時間が経つと自動的にミュートが解除されます。

・ハンド設定時は送信開始までに遅延が起こるため、音声の始めが途切れる場合があります。「了解です、～」や「はい、～」など、途切れても支障がないような言葉から話し始めると通話しやすくなります。

・タッチとボイスでは VOX 機能が使えない一部のオプションマイクが使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

・ボイスは音声以外で作動してしまうような騒音の大きい場所では、使用できません。

【メモ】無線機管理者がカスタマイズのために使う「拡張セットモード」でタッチとボイスの感度レベルと、全設定のミュート保持時間が変更できます。ウエブサイトのダウンロードページ、特定小電力無線のコーナーに「拡張セットモード説明書」を掲載しておりますのでご覧ください。ただし管理者以外の方が設定を変えて不具合が出ると自分ではもとに戻せなくなり、弊社サービスセンターでも対応できないことがあります。自分が設定したものでないときは、まず管理者にご相談ください。